



No.8

令和7年
10月14日

すずか幼稚園

第2すずかきしおか幼稚園

避難訓練

毎年9月1日は「防災の日」に設定されています。これは1923年（大正12年）9月1日に発生し、甚大な被害をもたらした関東大震災を教訓として、台風、豪雨、地震、津波などの自然災害に対する認識を深め、備えを行うための日とされており、全国各地で避難訓練が実施されています。

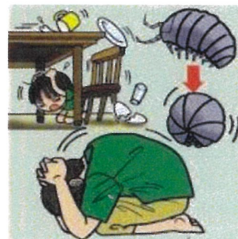
先日（9月12日）には、四日市市が記録的な大雨の影響で地下駐車場が浸水により大きな被害を受けました。今やこのような自然災害は、いつ何時私たちの身の回りで起こるかわからないような状況となっており、子どもたちの安全を確保する取り組みは重要なものとなっております。

こうした状況のもと、本園では、地震災害を想定した避難訓練を9月22日（月）に実施しました。

東海地方に大地震が発生したことを放送で知らせ、まずは「ダンゴムシのポーズ」で自分たちの身体を守ります。（第1次避難）その後、すずか幼稚園では園庭に、第2すずかきしおか幼稚園では駐車場に避難します。（第2次避難）避難する際は、「押さない、走らない、喋らない、戻らない」の「おはしめ」を守るとともに、園舎から外へ出る際には、鈴鹿市消防本部が考案した平泳ぎをしているように手を動かす「平泳ぎ避難」をしました。

園舎を出て避難場所で集合した後、さらにその場所が危険となったと想定して、次の安全な避難場所（すずか幼稚園は駐車場、第2幼稚園は岸岡山緑地公園）まで移動するといった、第3次避難まで行いました。

実際に大地震が発生した時は、訓練のようにスムーズにいかないことも予想されますが、こうした事態に備えて避難訓練を定期的に行っていくことは非常に重要なことと考えます。本園では、地震や火災などの発生に際し、いろいろな事態（放送が使えない、避難経路が限られるなど）を想定し、定期的に避難訓練を行っていきます。



平泳ぎ避難

平泳ぎのように腕を回しながら移動する避難方法で、鈴鹿市消防本部が考案しました。建物の出入り口などに人が殺到して将棋倒しになるのを防ぐため、水泳の平泳ぎのように手を動かして互いの間隔を確保しながら避難するものです。



大根の種まき

本園では、教育活動の一環として「食育」に取り組んでいます。食育とは、健全な食生活を送るために、食に関する知識や安全な食を選択する力を身につけることを目指し、その中で食べ物の生産過程を知ることも重要とされています。

主に年中組が園の畑で野菜を育てており、春から夏にはキュウリやナス、ピーマンやミニトマトなどの「夏野菜」を育て、夏野菜の収穫が終わった秋から冬には「大根」を育て、育てた野菜は家に持ち帰り、各家庭で食事に提供していただいております。

本年度の大根の種まきは、すずか幼稚園、第2すずかきしおか幼稚園ともに9月22日（月）に行いました。

園の畑は当日までに園の職員によりふかふかに耕され、大根の種をまくのに最適に準備されています。種まきの当日は、子どもたちは先生から大根の種をもらい、畑に開けられた穴にそっと入れます。その後、「大きくなってね」と声をかけながら土のお布団をかけ（土をかぶせ）ました。

最近の気候は、高温が続くため、大根にとっていい面と悪い面が出ます。大根に適した気温となるといいのですが、気温が高すぎたりその影響から虫が発生したりと大根を育てるのも一苦労するようになりました。

この後、年中組の子どもたちは大根が大きくなる様子を観察し、冬になって大きく育った大根を収穫して家庭に持ち帰ります。



運動会

本年度の運動会は10月10日（金）に四日市ドームで実施しました。

運動会に際しては、各競技の準備や係活動、各学年の子どもたちの見守りやトイレのお世話など、いろいろなことについて父母の会の本部役員様をはじめ学級委員さんの皆様に大変お世話になりました。

当日は、朝の早い時間から集合して準備をしていただき、運動会中は係の活動を、運動会終了後は客席のゴミ拾いまで、一日中いろいろと活動していただきました。

本年度の運動会を無事に終わることができましたのも、保護者の皆様のご協力はもとより、父母の会の役員の皆様のおかげと深く感謝しております。この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

